２　地理歴史・公民

学校番号	２１１

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）、						
副教材等	詳細日本史図録（山川出版社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

時代ごとの特徴や状況など、基礎となる知識を理解し、その集積を踏まえて、日本がたどった道を考えてもらう。常に生徒が考えることや基本の確認を通じて、グローバルな視点を持つ知識を定着させていくことを指導していく。

２ 学習の到達目標

・日本の通史を史実に基づき把握し、社会の構造とその変化の過程を理解する。
・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
・日本の歴史を世界と関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	• 日本の歴史的な諸事象･諸課題について、興味･関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めたか。 • 作業学習･調べ学習に意欲的に取り組むことができたか。	• 日本の歴史上の様々な問題を当時の状況や現代との比較などから考察し、公正に判断しようとしたか。 • また、その判断を現代日本の諸課題と重ねて適切に表現したか。	• 図解や図説の中の資料や写真などを適切に理解し、時代ごとの課題や事象を的確に判断し理解しているか。 • また、その図解や資料をより多く理解の役に立て、より立体的に知識を構築できたか。	• 日本史と世界の歴史的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。
評価方法	レポート 観察など	定期考査 観察など	定期考査 観察など	定期考査 観察など

上記の観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第9章近代国家の成立 第10章二つの世界大戦とアジア	3　立憲国家の成立と日清戦争 4　日露戦争と国際関係 5　近代産業の発展 6　近代文化の発達 1　第一次世界大戦と日本 2　ワシントン体制 3　市民生活の変容と大衆文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 ｂ：日露戦争と国際関係について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：欧米文化を取り入れて国民的性格をもつ近代文化が形成さたこと、大衆文化の特徴に関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 第一次世界大戦後の国際秩序やワシントン体制を理解し、国内の社会動向に関する基本的な知識を身に付けている。	第一学期定期考査
2学期	第10章二つの世界大戦とアジア 第11章占領下の日本 第12章高度成長の時代	4　恐慌の時代 5　軍部の台頭 6　第二次世界大戦 1　占領と改革 2　冷戦の開始と講和 1　55年体制	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策,集大成となる日本国憲法制定の意義などに関する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ｂ：東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義や、連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過に関する諸資料を収集し、図表などにまとめることができる。 ｄ：第一次世界大戦後の経済の混乱が日本の対中国政策に大きな影響を与えていったこと、国内での政治・経済状況および、敗戦からの復興の過程を理解し、その知識を身に付けている。	第二学期定期考査
3学期	第12章高度成長の時代 第13章激動する世界と日本	2　経済復興から高度成長へ 1　経済大国への道 2　冷戦の終結と日本社会の動揺	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:特需景気の影響、産業構造の高度化などを踏まえ、開放経済体制のもとでの日本の動きや、耐久消費財の普及による豊かさの享受、流通網・交通網の整備、技術革新が進む一方、農村の過疎化や公害問題などの社会問題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ｂ：平和国家としての歩みと高度経済成長の特色、国民生活、国際情勢への理解と、日本経済の特徴や内包する諸問題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：石油危機を技術革新で乗り越え、経済大国となった日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択することができる。 ｄ：第二次世界大戦後の国際社会の大きな構造の変化とそれに日本がどう対応してきたかについて理解し、その知識を身に付けている。	学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けする観点）について○を付けている。